

## 平成18年度 第1回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

1 日 時 平成18年7月29日(土) 午後2時00分～午後4時20分

2 場 所 花見川区役所2階講堂

3 事務局 10名

4 会議内容

委員定数33名のうち、31名出席、2名欠席を確認し開会した。

事務局の司会の下、村上区長から挨拶、配布資料の確認後、各委員が五十音順に自己紹介(各自1分程度)し、最後に事務局員の紹介をした。

次に事務局から花見川区地域福祉計画推進協議会設置要綱(以下、設置要綱)について説明。質問が無かったため引き続き会議の公開等について事務局から説明した。

説明後、会議の公開・広報について諮ったところ、満場一致、異議無く承認された。

また第1回の傍聴人がいないことを報告した。

<質疑応答>

(委員): 設置要綱について議論する時間をもう少しいただきたい。

(委員): 地域福祉計画の作業部会等で要綱の概要については既に議論しているので継続委員達は異議が無い。

### 議題(1)

#### 委員長・副委員長の選任について

設置要綱第6条第1項に基づき、委員長が議長になることを確認した。続いて設置要綱第5条第1項及び第2項に基づき、委員長、副委員長が決まるまでの間、藤井所長が仮議長に就任することが承認された。

藤井仮議長: 委員長について自薦他薦を募りたい。

(委員): 片桐委員が委員長が適任。片桐委員は花見川区町内自治会連絡協議会の会長やさつきが丘地区部会の会長を務められており、区の地域問題に精通し、判断力、決断力に優れている。

藤井仮議長が片桐委員を委員長として諮ったところ満場一致、異議無くこれを可決承認した。

(仮委員長): 次に副委員長の選任について自薦他薦を募りたい。

(委員): 片桐委員長からの推薦が良い。

(委員): 原田委員が副委員長に適任。原田委員は平成16年17年と2年間に

わたり、花見川区地域福祉計画策定に中心となって活躍しており、計画について熟知している。

(委員長)：副委員長については原田委員を推薦する。

(仮委員長)：仮委員長が原田委員を副委員長として諮ったところ満場一致、異議無くこれを可決承認した。藤井仮議長は仮議長の職を退いた。

休憩 10分

## 議題(2)

### 市及び区地域福祉計画について

委員長、副委員長の就任挨拶後事務局から、市及び区地域福祉計画について区計画書本編に沿って説明した。

<質疑応答>

(委員)：2007年問題について、地域福祉計画ではどのように考えているのか。

(事務局)：団塊の世代の方々にもボランティアに興味を持ってもらい、地域福祉活動の担い手になってもらいたいと考えている。具体的な方針は定まってないが、今後の共通の課題だと考えている。

(副委員長)：区計画書本編のP36・P37にも書いてある。定年退職後の方々には地域も期待している。活動するきっかけを作ってあげるべき。

(委員)：社会福祉協議会の地域福祉活動計画について地域福祉計画とどのような関連性があるのか。

(事務局)：地域福祉活動計画は今年3月に策定され、各地区部会には1部配布した。地域福祉活動計画策定のために、地域福祉計画のフォーラムに職員も参加し、市の計画との整合性を図るように努めた。地域福祉活動計画は社協自体の事業計画であり区の計画とは多少性格の違うところがある。本日冊子を全員に配布できないので、次回会議時に第1章から第3章までの25ページをコピーし配布する。

(委員)：市推進協議会を設立する予定はあるのか。

(事務局)：区推進協議会の意見を取りまとめ全体のレベルアップのために市推進協議会は必要と考えている。市推進協議会の開催時期、委員構成については、現在のところ未定だが、区推進協議会の実施状況なども踏まえ秋以降開催したい。

## 議題(3)

### 区・地域福祉計画推進協議会の役割等について

事務局から、区・地域福祉計画推進協議会の役割等について説明した。続いて事務局から地域福祉パイロット事業について説明した。

時間の関係から議題(3)(4)の2議題が一括説明となる。

#### 議題(4)

##### 今後のスケジュールについて

事務局から、今後のスケジュールについて説明した。

<質疑応答>

(委員)：休日は地域の福祉活動があるので、平日の昼間(午後2時頃)が良い

(委員)：仕事もある人もいるので土曜日の午後が良い

(事務局)：できれば皆さんにアンケートを配布し、意見を募りたい。

(委員長)：意見が割れたため、事務局で検討してほしい。

#### 議題(5)

##### その他

(委員)：設置要綱について第1条の必要な環境づくりを推進するため設置するという言い回しが理解できない。

(委員長)：文章上の問題だと思うが、事務局で検討してほしい。

(副委員長)：パイロット事業の概要説明文の中に対象となる事業、その地区では初めての事業とあるが、「その地区」とは地区部会のことを指しているのか、または地区部会内の小地域の地区をさしているのか。

(事務局)：「その地区」とは地区部会を指す。

(副委員長)：スケジュールを見ると、パイロット事業の議題しか見えてこない。地区部会の活動や区地域福祉計画についてもっと議論できるようにスケジュール予定に入れてもらいたい。

(事務局)：地区部会の紹介冊子を次回会議時に紹介したい。

(事務局)：スケジュール案は今後委員の要望に応じて変更は可能。

(委員)：地区部会関係者以外も議論できる議題を出してもらいたい。

(事務局)：全員が共通して議論できる議題を考えていきたい。

(委員)：第1回締め切りで提出したパイロット事業の決定時期がいつになるのか。

(事務局)：現在申請を受けている5件については恐らく10月頃市社協で決定できる。

(委員)：10月では遅いので、できるだけ早く審査会を開催してもらいたい。

(委員)：10月過ぎに不許可を出されても現場では大変苦労する。

(事務局)：9月の推進協議会后、速やかに事務処理を進める。

(委員): 区地域福祉計画の取り組みについて、ある程度年度ごとの目標を設定する必要があるのではないか

各委員からの質問・意見が終了し、議事全てが終了したため、午後4時20分議長が終了を宣し花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。